

2025年度学事暦

事 項	期 日 又 は 期 間	備 考
春 季 休 業 期 間	4月1日(火)～4月6日(日)	
( 全 学 ) 入 学 式	4月4日(金)	
専修コース開講式・オリエンテーション	4月5日(土)	※新入生対象
春 学 期 開 講	4月12日(土)	
清 陵 祭	5月17日(土)～5月18日(日) (5月17日(土)は準備を含む)	
開 学 記 念 日	6月1日(日)	
補 講 週 間	7月12日(土) 7月16日(水)～7月18日(金)、 7月22日(火)、7月28日(月)	
夏 季 休 業 期 間	7月29日(火)～9月30日(火)	
集 中 講 義	7月19日(土)、7月26日(土) 8月2日(土)、8月9日(土)	
春 学 期 終 講	9月30日(火)	
秋 季 休 業 期 間	10月1日(水)～10月2日(木)	
秋 学 期 開 講	10月3日(金)	
常 盤 祭	10月31日(金)～11月2日(日) (10月31日(金)は準備を含む)	
冬 季 休 業 期 間	12月23日(火)～1月4日(日)	
(学部)大学入学共通テスト休業日	1月16日(金)～1月18日(日)	
補 講 週 間	1月20日(火)～1月24日(土) 2月2日(月)	
春 季 休 業 期 間	2月3日(火)～3月31日(火)	
(学部)個別学力検査等試験日(前期日程)	2月25日(水)	
プロジェクト報告会	3月7日(土)	(予定)
(学部)個別学力検査等試験日(後期日程)	3月12日(木)	
卒 業 式 ・ 修 了 式	3月25日(水)	
秋 学 期 終 講	3月31日(火)	

令和7年度(2025年度) 学事暦<YBS履修案内用>

学期・ターム・月		日	月	火	水	木	金	土		
春学期	第1ターム	4月								4/1(火)~4/6(日) 春季休業期間、4/4(金) 全学入学式 4/5(土) 専修コース開講式・オリエンテーション 4/12(土) 春学期開講 4/7(月)~4/18(金) 履修登録期間 4/24(木)~4/28(月) 履修登録確認・訂正期間 5/17(土)~5/18(日) 清陵祭(5/17(土)は準備を含む) 7/12(土)、7/16(水)~7/18(金)、7/22(火)、7/28(月) 春学期補講期間 7/19(土)、26(土)、8/2(土)、8/9(土) 春学期集中講義 7/29(火)~9/30(火) 夏季休業期間 9/30(火) 春学期終講 10/1(水)~10/2(木) 秋季休業期間 10/3(金) 秋学期開講 10/3(金)~10/16(木) 履修登録期間 10/22(水)~10/24(金) 履修登録確認・訂正期間 10/31(金)~11/2(日) 常盤祭(10/31(金)は準備を含む) 12/24(水)~1/4(日) 冬季休業期間 1/16(金)~1/18(日) 大学入学共通テスト休業日 (1/17(土)及び1/18(日)は大学構内入構不可) 1/20(火)~1/24(土)、2/2(月) 秋学期補講期間 2/3(火)~3/31(火) 春季休業期間(第6ターム) 2/25(水) 前期日程試験(大学構内入構規制) 3/7(土) プロジェクト報告会(予定) 3/12(木) 後期日程試験(大学構内入構規制) 3/25(水) 卒業式・修了式 3/31(火) 秋学期終講
			6	7	8	9	10	11	12	
			13	14	15	16	17	18	19	
			20	21	22	23	24	25	26	
			27	28	29	30				
							1	2	3	
	第2ターム	5月	4	5	6	7	8	9	10	
			11	12	13	14	15	16	17	
			18	19	20	21	22	23	24	
			25	26	27	28	29	30	31	
			1	2	3	4	5	6	7	
			8	9	10	11	12	13	14	
	第3ターム	6月	15	16	17	18	19	20	21	
			22	23	24	25	26	27	28	
			29	30						
					1	2	3	4	5	
			6	7	8	9	10	11	12	
			13	14	15	16	17	18	19	
第4ターム	7月	20	21	22	23	24	25	26		
		27	28	29	30	31				
							1	2		
		3	4	5	6	7	8	9		
		10	11	12	13	14	15	16		
		17	18	19	20	21	22	23		
第5ターム	8月	24	25	26	27	28	29	30		
		31								
			1	2	3	4	5	6		
		7	8	9	10	11	12	13		
		14	15	16	17	18	19	20		
		21	22	23	24	25	26	27		
秋学期	第6ターム	9月	28	29	30					
								1	2	
			3	4	5	6	7	8	9	
			10	11	12	13	14	15	16	
			17	18	19	20	21	22	23	
			24	25	26	27	28	29	30	
	第7ターム	10月	31							
						1	2	3	4	
			5	6	7	8	9	10	11	
			12	13	14	15	16	17	18	
			19	20	21	22	23	24	25	
			26	27	28	29	30	31		
	第8ターム	11月							1	
			2	3	4	5	6	7	8	
			9	10	11	12	13	14	15	
			16	17	18	19	20	21	22	
			23	24	25	26	27	28	29	
			30							
第9ターム	12月		1	2	3	4	5	6		
		7	8	9	10	11	12	13		
		14	15	16	17	18	19	20		
		21	22	23	24	25	26	27		
		28	29	30	31					
						1	2	3		
第10ターム	1月	4	5	6	7	8	9	10		
		11	12	13	14	15	16	17		
		18	19	20	21	22	23	24		
		25	26	27	28	29	30	31		
第11ターム	2月	1	2	3	4	5	6	7		
		8	9	10	11	12	13	14		
		15	16	17	18	19	20	21		
		22	23	24	25	26	27	28		
第12ターム	3月	1	2	3	4	5	6	7		
		8	9	10	11	12	13	14		
		15	16	17	18	19	20	21		
		22	23	24	25	26	27	28		
		29	30	31						

# I. 横浜国立大学大学院国際社会科学府経営学専攻（博士課程前期） 社会人専修コース履修細目

## 1. 履修方法

博士課程前期修了に必要な授業科目の単位数は次のとおりである。

修了要件	授業科目	単位数
	講義	20 単位以上
	演習	12 単位（必修）
	計	32 単位以上

授業科目取得内訳	講義科目	20 単位以上
	専修コース開講科目	16 単位以上
	演習	12 単位
	ワークショップ演習（1 年次春学期）	3 単位
	プロジェクト演習Ⅰ（1 年次秋学期） プロジェクト演習Ⅱ（2 年次春学期） プロジェクト演習Ⅲ（2 年次秋学期）	各 3 単位

## 2. 授業時間帯

平日 18 時 50 分～21 時 00 分（4 時限）

土曜 9 時 50 分～12 時 00 分（1 時限）

13 時 00 分～15 時 10 分（2 時限）

15 時 20 分～18 時 00 分（3 時限）

※ 授業時間は 1 時限につき 2 時間 10 分、但し、演習については 2 時間 40 分とする。

## 3. 講義科目について

講義科目は、専修コースで開講されている講義科目から、16 単位以上を取得すること。

また、講義担当教員の承認を得て、平日昼間に開講している経営学専攻の授業科目を履修可能であり、4 単位までを修了に必要な単位数に加えることができる。

## 4. 演習について

- (1) ワークショップ演習、プロジェクト演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、必修とする。
- (2) 演習の実施細目については以下の様に定める。
  - ① 学生は入学試験合格時に決定した演習に参加すること。
  - ② ワークショップ演習、プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱにおいては、研究・学習の成果をチームメンバーとして提出することなどにより、評価が行われる。
  - ③ プロジェクト演習については、次の履修条件をもうける。

プロジェクト演習Ⅰ	ワークショップ演習を修得済みであること
プロジェクト演習Ⅱ	プロジェクト演習Ⅰを修得済みであること
プロジェクト演習Ⅲ	プロジェクト演習Ⅱを修得済みであること
  - ④ プロジェクト演習Ⅲ終了の際、学生は研究成果を「特定課題論文」として提出しなければならない。

## 5. 開講科目以外の単位認定について

入学する前に大学院（他大学の大学院及び外国の大学院を含む）において履修した授業科目（博士課程前期レベルの講義）について修得した単位を有する場合、教育上有益と認めるときには、当該教授会等の議を経て2単位を限度として専修コースの修了に必要な単位として認定することができる。入学後1か月以内に所定の申請を行うこと。

ただし、本学経営学部又は国際社会科学研究所／国際社会科学府在学時に、大学院科目を履修し卒業単位に含めた授業科目は除く。

## 6. 授業科目の成績について

- (1) 授業科目の成績は、秀（100～90）、優（89～80）、良（79～70）、可（69～60）及び不可（59以下）で表記し、単位の修得は「可」以上とする。

### 【GPA (Grade Point Average)について】

成績評価に応じて GP (Grade Point) を与え、以下の式によって GPA 値を算出する。

GPA 算出対象科目は全ての授業科目（講義及び演習）とし、**GPA 値 2.0 以上を修了要件**とする。

なお GPA の導入に伴い、履修登録は年2回春学期と秋学期に1回ずつとする。

算出式： 
$$\text{GPA} = \Sigma (\text{GP} \times \text{単位数}) \div \text{履修登録単位数}$$

成績評価（評価点）と GP は次のとおりとする。

- |     |           |     |
|-----|-----------|-----|
| ①秀  | （100～90点） | 4.5 |
| ②優  | （89～80点）  | 4.0 |
| ③良  | （79～70点）  | 3.0 |
| ④可  | （69～60点）  | 2.0 |
| ⑤不可 | （59点以下）   | 0.0 |

## (2) 成績の確認

【成績閲覧開始】から約 2 週間（修了判定時については、別途期間を設定）を「成績確認期間」とする。直前学期の成績に異議のある学生は、「履修科目成績確認願」を大学院学務係に提出すること。「成績確認期間」終了後は、成績異議申し立て等は一切受け付けない。申し立てのあった場合は、該当科目の授業担当教員のほか、該当科目を開講している専攻の責任者（専攻長）も申し立てに対する確認結果を確認する。大学院全学教育科目を含め他部局開講の科目については、開講部局の定めに従うこと。成績訂正の対象となるのは、教員サイドの転記ミス並びに採点ミスのみであり、成績に関する嘆願は一切受け付けない。詳細は国際社会科学府・研究院ウェブサイトや授業支援システムを参照すること。

授業支援システム > 【連絡専用】社会科学系事務部大学院学務係 Graduate School Affairs Office, GSISS[Zac0049]

## 7. 研究指導計画書・研究計画書について

国際社会科学府では、年度初めに「研究指導計画書・研究計画書」を作成する必要がある。詳細は、責任指導教員に確認すること。

### (1) 作成書類

横浜国立大学大学院国際社会科学府 研究指導計画書・研究計画書

### (2) 作成方法

- ① 責任指導教員は、学生に対して、研究指導の方法及び内容並びに 1 年間の研究指導の計画を研究指導計画書によりあらかじめ明示する。
- ② 学生は、前号の研究指導計画書に基づき、研究計画書を作成する。
- ③ 責任指導教員は、「研究指導計画書・研究計画書」を確認する。
- ④ 作成された「研究指導計画書・研究計画書」は、責任指導教員と学生の双方で保管する。
- ⑤ 責任指導教員は前号の「研究指導計画書・研究計画書」の写しを大学院学務係に提出する。
- ⑥ 「研究指導計画書・研究計画書」に大きな変更があった場合は随時改訂するものとし、責任指導教員は、改訂を行った都度、その写しを大学院学務係に提出する。計画書に大きな変更があった場合は随時改定するものとし、責任指導教員は、改訂を行った都度、その写しを大学院学務係に提出する。

## 8. 学位（修士号）取得までの標準過程

### (1) 必要要件

特定課題論文の評価およびプロジェクト報告会における最終試験の評価と修了に必要な単位の修得により、修士号を取得することができる（横浜国立大学大学院学則第 18 条参照）。

- ※ 「特定課題論文」とは、2 年にわたるプロジェクト演習の成果として作成したものを指す。  
また、「特定課題論文」をベースに口頭で報告する場を「プロジェクト報告会」と呼びこの報告会での報告をもって最終試験とする。

### (2) 特定課題論文（最終試験であるプロジェクト報告会における最終試験を含む）の評価基準

特定課題論文は、プロジェクトのテーマに沿った論点に対して、自らの独創的な研究成果を提示するものとする。以下のような項目が満たされていることを以て、合格の基準とする。

- ① 特定課題論文（修士学位論文に相当）における課題設定が適切であり、問題意識が明確であること。
- ② 特定課題論文中に示された執筆者の分析または解釈・見解が論理的であり、独創性が認められること。
- ③ 特定課題論文での研究内容とその意義を十分理解しており、説得的に説明できること。
- ④ 特定課題論文の構成、表現等が妥当であること。

(3) 最終報告会までのプロセス



※ 2 年次秋学期以降の詳細な日程等については YNU メールへ連絡するので要確認のこと。

## 9. 2025年度授業科目及び単位数

曜日、時限、日程は時間割表（巻末）を参照すること。

	科目 コード	授 業 科 目	単位 数	区 分	学 期	担 当 教 員	備 考
1	PB50001	リサーチ・メソッド	2		春	大森・河野・ 鶴見・君島 共4名	2025 開講
2	PB50005	戦略マネジメント	2		秋	高井 文子	2025 開講
3	PB50006	経営組織	2		春	佐々木 秀綱	2025 開講
4	PB50007	技術マネジメント	2		春	真鍋 誠司	2025 開講
5	PB50008	マーケティング・マネジメント	2		春	鶴見 裕之	2025 開講
6	PB50009	ヒューマン・リソース・マネジメント	2		秋	楊 芸玥	2025 開講
7	PB50010	グローバル・マネジメント	2		春	河野 英子	2025 開講
8	PB50011	管理会計	2		秋	君島 美葵子	2025 開講
9	PB50012	財務会計	2		秋	大雄 智	2025 開講
10	PB50013	サステナビリティ・マネジメント	2		秋	大森 明	2025 開講
11	PB50014	アカウンティング（集中講義）	2		春	池田 晋	2025 開講
12	PB50015	企業財務	2		秋	北村 智紀	2025 開講
13	PB50018	ビジネス統計学	2		秋	岡部 考宏	2025 開講
14	PB52001	組織変革	2				2025 休講
15	PB52002	マネジメントと社会	2				2025 休講
16	PB52003	オペレーションズ・マネジメント	2		秋	鈴木 定省	2025 開講
17	PB52013	マーケティング・アナリティクス	2		春	本橋 永至	2025 開講
18	PB52005	ビジネス・シミュレーション	2				2025 休講
19	PB52014	ファイナンス論	2		春	伊藤 有希	2025 開講
20	PB52009	国際会計	2		秋	高須 悠介	2025 開講
21	PB52010	経営史	2		春	青木 洋	2025 開講
22	PB53001	特殊講義（M & A）	2		春	渡辺 伸行他	2025 開講
23	PB53002	特殊講義（Global Joint MBA Intensive Program）	2		春	飯島 健太郎 ※1 参照	2025 開講
24	PB53004	特殊講義（Shanghai Study Visit [Business and Economy in China]）	2		春	前山 政之 ※1 参照	2025 開講
25	PB53005	特殊講義（標準化とビジネス）	2		春	江藤 学	2025 開講

※1 履修希望者はシラバスを参照のうえ、事前に授業担当教員及び演習担当教員に申し出ること。

※2 都合により、開講年度が変更になることがあります。

## 10. 2025年度演習及び単位数

	科目コード	演習系統	演習科目	単位数	区分	学期	担当教員	備考
1	PB61001	演習A	ワークショップ演習	3	必修	春	大森・河野	
2	PB61002	演習A	プロジェクト演習Ⅰ	3	必修	秋	大森・河野	ワークショップ演習を修得済みであること
3	PB61003	演習A	プロジェクト演習Ⅱ	3	必修	春	高井・山岡	プロジェクト演習Ⅰを修得済みであること
4	PB61004	演習A	プロジェクト演習Ⅲ	3	必修	秋	高井・山岡	プロジェクト演習Ⅱを修得済みであること
5	PB62001	演習B	ワークショップ演習	3	必修	春	鶴見・君島	
6	PB62002	演習B	プロジェクト演習Ⅰ	3	必修	秋	鶴見・君島	ワークショップ演習を修得済みであること
7	PB62003	演習B	プロジェクト演習Ⅱ	3	必修	春	大雄・竹内	プロジェクト演習Ⅰを修得済みであること
8	PB62004	演習B	プロジェクト演習Ⅲ	3	必修	秋	大雄・竹内	プロジェクト演習Ⅱを修得済みであること

※ 演習科目は全て土曜日3限

## II. 講義概要（シラバス）について

本コース講義概要については、学務情報システムへログイン後、「シラバス検索」から参照すること。

学務情報システム：[https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu\\_portal/login.aspx](https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/login.aspx)

※学外から学務情報システムへアクセスする場合は、多要素認証を行う必要があります。学務情報システム操作方法は9ページ以降を参照。